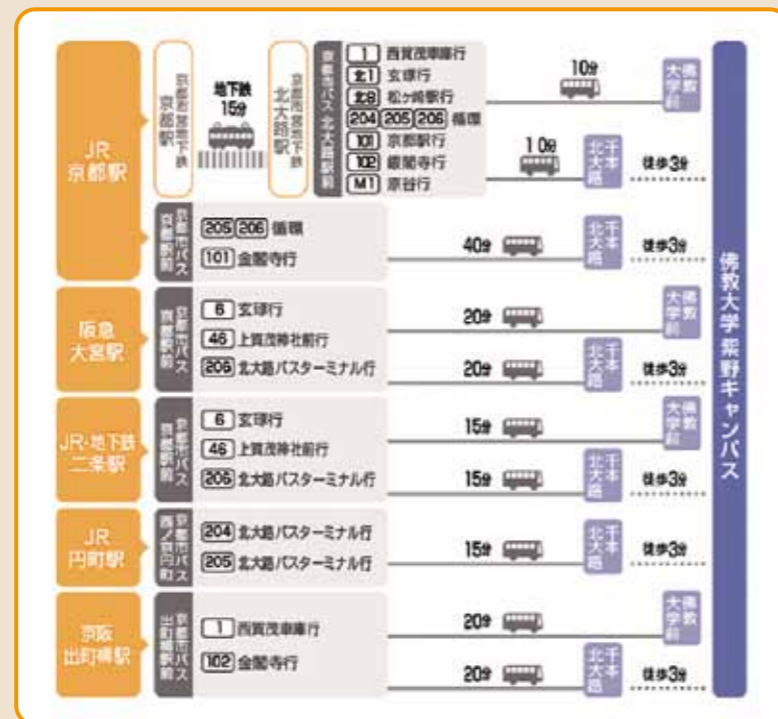


交通のご案内

■ 佛教大学(紫野キャンパス)
〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町96

◎1日目の集合場所は佛教大学になります。12:30までお越しください。
受付後、各フィールドワーク会場へ移動していただきます。



第8回 地域密着型福祉全国セミナー in 京都市北区 「災害にも強い福祉のまちづくりをめざして」



お申込の手順

1. 参加ご希望の方は、下記参加申込書に必要事項をご記入のうえ、FAX または郵送にてお申し込みください。
2. 参加費を右記郵便口座にお振り込みください。
3. 参加費の振込を確認し次第、参加票をお送りいたします。
セミナー当日は、参加票をご持参ください。

※入金後のキャンセルにつきましては参加費のご返金はできかねますので予めご了承ください。

※懇親会費は当日会場でお支払いください。(4,000円程度)

お振り込み先

○ ゆうちょ銀行振替口座
 口座記号・番号：02260-9-46303
 加入者名：全国コミュニティライフサポートセンター
 ※お近くのゆうちょ銀行、または郵便局の貯金窓口をご利用ください。

お申し込み・お問い合わせ

第8回地域密着型福祉全国セミナー in 京都市北区 実行委員会事務局
 全国コミュニティライフサポートセンター / 担当：島田・伊藤
 〒981-0932 宮城県仙台市青葉区木町16-30 シンエイ木町ビル1階 TEL：022-727-8730

※FAX 番号のお間違えにご注意願います

FAX 022-727-8737

【参加申込書】 第8回「地域密着型福祉全国セミナー in 京都市北区」

申込責任者		団体名	
所在地	〒	(自宅・職場)	TEL
			FAX

お名前	役職	フィールドワーク 第1希望	フィールドワーク 第2希望	懇親会参加 (参加ご希望の方は○)
①				
②				

2011年3月に発生した東日本大震災において、私たちは多くの悲しみとともに多くの教訓を学ぶこととなりました。「日常からの絆の大切さ」、「災害時要援護者(要配慮者)支援の必要性」など、私たちは、日々地域実践の中で災害における不幸を減らす取り組み(減災)を、各地域で展開していくことが重要であることを再認識しました。

本セミナーは、「災害にも強い福祉のまちづくり」を目指し、「協議」と「実践」を繰り返しながら挑戦し続ける京都市北区から、今後の地域社会のあり方を全国に向けて問題提起していこうという企画です。一歩ずつ、歩み出している地域の躍動感をぜひ、体感してみてください!

とき 2013年2月23日(土)～24日(日)

会場 1日目 / 京都市北区・各フィールドワーク会場
2日目 / 佛教大学 成徳常照館5階「常照ホール」

定員 100人 (各フィールドワーク20人) **参加費** 5,000円

主催：第8回地域密着型福祉全国セミナー in 京都市北区 実行委員会
 共催：全国コミュニティライフサポートセンター(CLC)
 後援：京都市北区役所 / 京都市社会福祉協議会 / 京都市北区社会福祉協議会 / 佛教大学

1 日目 [23日(土)] ●会場：京都市北区・各フィールドワーク会場

※予定は、地域事情により変更する可能性があることをご了承ください。

第1 フィールドワーク

会場：大宮学区 / 西賀茂会館

大宮学区は、五山の送り火の一つ「船形萬灯籠保存会」による「船形送り火」が開催される地域です。また、新興住宅地で学生も多い学区ですが、農家も多数残っており、「賀茂なす」「すぐき」「玄珠ねぎ」などが栽培され、農家が直接、大八車や軽トラックなどで小売りする「振り売り」も見かけられます。大宮学区では、2010年より、「防災と福祉のまちづくり講座」を開催し、話し合いを重点的に行うなかで、「防災マップ」の作成や「大宮ほっとかへんで運動」(災害時要配慮者登録制度と見守り安心ネットワークを運動的に展開しようとする取り組み)の実施、避難所運営訓練の実施等、防災と福祉のまちづくりに取り組んでいます。

テーマ「災害時要配慮者登録制度と見守り安心ネットワーク」

大宮学区で開催されている「防災と福祉のまちづくり講座」に参加し、これまでの取り組み経緯や「大宮ほっとかへんで運動」の概要や取り組み視点などを学びます。

プログラム

- 13:00 オリエンテーション
- 13:15 「防災と福祉のまちづくり講座」に参加
 - これまでの取り組み経緯と大宮ほっとかへんで運動の実践報告及び話し合い
 - 記念講演
鳩山学区住みよいまちをつくる会(茨城県日立市) 会長 西村 ミチ江
- 15:45 講座終了
- 16:00 地元から話を聴く・質疑応答
- 17:00 終了
- 17:30 地元にて懇親会(希望者のみ)

定員 20人

ファシリテーター：
佛教学社福祉教育開発センター 講師 金田 喜弘



第3 フィールドワーク

会場：紫野学区 / 紫野会館

紫野学区には、船岡山公園や建勲神社のある船岡山、やすらい祭で有名な玄武神社、雲林院等があります。また、常盤御前が産湯を使ったといわれる「常盤井(ときわい)」や弁慶の腰かけ石、紫式部・小野篁の墓など伝説を秘めた史跡も残っています。こうした歴史と伝統があふれるまちには、西陣織の産地、静かな住宅地、昔ながらの商店が残るまちといった特徴のなか、8千人近くの方が住んでおられます。高齢化が進み、ひとり暮らし高齢者が増加する紫野学区では、現在、災害時をも見越した要援護者(要配慮者)の組織化活動が進められています。

テーマ「災害時要援護者(要配慮者)の組織化」

防災講座や歌づくり活動を通じて、組織化されたひとり暮らし高齢者の会「パープル・フレンズ」の活動に参加し、要援護者(要配慮者)支援の必要性を学びます。

ひとり暮らし高齢者の会「パープル・フレンズ」

「私たちにもできることある!」というキャッチフレーズのもと、地域の歌づくりを通じて、ひとり暮らし高齢者の会が発足しました。現在、メンバー約40人、オリジナル曲は3曲になり、福祉施設へ歌の披露に訪問したり、最近では、「カフェ紫野」なる喫茶店まで始めてしまいました。本セミナーの2日目・午後からは、会が主催となり、「まちうたフェスタ」を開催します。とどまることを知らない彼ら、彼女らのパワーを肌で感じてください!

プログラム

- 13:00 オリエンテーション
- 13:15 「パープルフレンズの定例会に参加」に参加
 - 翌日に開催する「まちうたフェスタ」の練習
 - メンバー交流会
- 15:45 終了
- 16:00 地元から話を聴く・質疑応答
- 17:00 終了
- 17:30 地元にて懇親会(希望者のみ)

定員 20人

ファシリテーター：
紫野カルチャー亭運営協議会 事務局長 石川 智規

第4 フィールドワーク

会場：待鳳学区 / 待鳳小学校体育館

待鳳学区は、今宮神社、大徳寺、常德寺などの社寺、「牛若丸産湯の井戸」という伝説を秘めた史跡があり、4月には、京の祭始めと言われる「やすらい祭」が行われるなど、文化と歴史の薫る地域です。現在の人口は、約1万2千人で、75歳以上の方が1千3百人以上おられ、そのうち、ひとり暮らしの方が3百人を超えるという地域状況であることから、救急情報キットや災害時安否確認のための黄色旗の配布、防災マップの作成等の取り組みを行っています。昨年は京都で初めて、「子ども防災EXPO」(子どもが気軽に防災を学べる企画)を学区内の各種団体の連携のもと、実施しました。

テーマ「若い世代への子ども防災教育」

防災教育をどのように地域で進めていくのか。子どもや若い世代(親)に対する啓発活動を積極的に進めている待鳳学区の取り組みを、子ども防災 EXPO に参加し、具体的に体験します。

プログラム

- 13:00 オリエンテーション
- 13:15 「子ども防災EXPO」に参加
 - 歩いて答える防災クイズ、防災に役立つ工作コーナー、防災袋の中身を考えるワークショップ、つくってみよう!非常食のコーナー、映像と展示のコーナー など
- 15:30 終了
- 16:00 地元から話を聴く・質疑応答
- 17:00 終了
- 17:30 地元にて懇親会(希望者のみ)

定員 20人

ファシリテーター：
さくらネット スタッフ 河田 のどか

第2 フィールドワーク

会場：紫竹学区 / 紫竹小学校体育館

御土居や賀茂川に囲まれ、比叡山を仰ぎ見るという自然環境に恵まれており、上賀茂神社の摂社である久我(くが)神社のほか、貴船神社や小森社があり、とりわけ「大宮の森の鎮守様」と親しまれる久我神社では、11月の神幸祭で、みこし巡行が行われるなど、歴史的に由緒ある地域です。昭和に入り区画整理が進み、竹林の宅地化など急速に市街化が進みました。現在は、堀川通、北山通、大宮通等の幹線道路が通り、北警察署、北郵便局や新大宮商店街があり、生活にも便利な地域です。また、平成23年7月29日に「エコ学区」の認定を受け、資源ゴミ回収や子ども服再利用促進等のイベントを開催し、学区をあげて環境にやさしい取り組みを実践しています。そのほか、エコ企画とコンサートを組み合わせたクリスマスコンサートやエコイベントを中心とした紫竹ecoフェスタ、団塊の世代を中心とした「紫竹ローマクラブ」など、さまざまな地域の清掃活動や地域コミュニティの活性化の取組も行っています。今年度は、こうした地域活動で培った機動力やネットワークを活かし、学区初となる「避難所運営訓練」に取り組みます。

テーマ「要援護者(要配慮者)に配慮した避難所運営訓練」

今年度、京都市では避難所運営マニュアル(ひな形)を策定しました。本フィールドワークは実際に紫竹学区にて実施される避難所運営訓練に参加し、避難所運営の秘訣を学びます。

プログラム

- 13:00 オリエンテーション
- 13:15 要配慮者に配慮した避難所運営の講習
- 14:00 「避難所運営訓練」に参加
 - 名簿づくり訓練 ●避難所運営協議会設置訓練
 - 班別訓練 ●衛生管理・食事管理・健康管理訓練
 - 展示コーナー など
- 17:00 終了
- 17:30 地元にて懇親会(希望者のみ)

定員 20人

ファシリテーター：
佛教学社福祉教育開発センター 講師 後藤 至功

第5 フィールドワーク

会場：鷹峯学区 / 老人保健施設がくさい

鷹峯学区から丹波へ至る街道は、丹波と京都を結ぶ重要な街道として栄え、本阿弥光悦ゆかりの当地には、光悦寺や源光庵などの名刹も多いほか、史跡「御土居」が残るなど、歴史と文化に親しみやすい環境にあります。現在、鷹峯学区には、約2千世帯、5千人の方が暮らしていますが、以前盛んであった紋彫り等の西陣織関係や農業、林業に従事される方が減少の一途をたどり、サラリーマン世帯の多い学区となっています。今年度、北区総合防災訓練を実施し、あわせて学区内にある老人保健施設「がくさい」では、福祉避難所運営訓練を実施しました。

テーマ「福祉避難所について考える」

老人保健施設「がくさい」で実施した福祉避難所設置・運営訓練の状況を振り返るとともに、実際に被災地から福祉避難所設置・運営に携わった職員を招き、再度、模擬訓練を実施します。

プログラム

- 13:00 オリエンテーション
- 13:15 福祉避難所運営のコツの講習
- 14:30 「福祉避難所運営の模擬訓練」に参加
 - 助言者：特別養護老人ホーム春園苑(宮城県気仙沼市) 事務局長 菅原 賀弥子
- 17:00 終了
- 17:30 地元にて懇親会(希望者のみ)

定員 20人

ファシリテーター：
さくらネット 代表理事 石井 布紀子

2 日目 [24日(日)] ●会場：佛教学社 成徳常照館5F「常照ホール」

参加型討論シンポジウム

「災害にも強い福祉のまちづくりをどう構築していくか」

9:30
◆開会あいさつ
趣旨説明

9:45
◆基調講演
「災害にも強いまちづくり～

私たちが目指すこれからの社会のあり方～」

●講師：さくらネット 代表理事 石井 布紀子

10:45
◆参加型討論シンポジウム

「災害にも強い福祉のまちづくりをどう構築していくか」

●シンポジスト
鳩山学区住みよいまちをつくる会(茨城県日立市) 会長 西村 ミチ江

特別養護老人ホーム 春園苑(宮城県気仙沼市) 事務局長 菅原 賀弥子

京都市行財政局 防災危機管理室 防災課長 白木 貞二郎

佛教学社福祉教育開発センター 講師 後藤 至功

●サポーター：全国コミュニティライフサポートセンター(CLC) 理事長 池田 昌弘

●コーディネーター：さくらネット 代表理事 石井 布紀子

13:00 ◆閉会

地域をこよなく愛する人々が、地域の歌を届けます!

どうぞ、あわせてご参加ください!! 同時開催

まちうたフェスティバル

京都発!「ゆるキャラ」[B-1グルメ]ブームの次は、「まちうた」ブーム!

日時：2013年2月24日(日) 14:00～15:30

会場：佛教学社成徳常照館5階「常照ホール」

出演団体：山陰効歌団(島根県)、宝塚サンパ協会(兵庫県) 真野ふれあいのまちづくり協議会(兵庫県) 他

【まちうた】とは...
地元を愛する住民による住民のためのご当地ソング。うたづくりや練習を通じて豊かな人間関係を育む活動の総称。

【主催】
パープルフレンズ(ひとり暮らし高齢者の会) むらさきっす(佛教学社) 紫野カルチャー亭運営協議会

